

委員会意見（まとめ）

にかほ市公共施設等総合管理計画検討委員会

第1回開催日：平成28年10月24日

第2回開催日：平成28年11月21日

第3回開催日：平成28年12月8日

第4回開催日：平成29年1月26日

第5回開催日：平成29年3月9日

委員

斉藤徹史	委員長	(東北公益文科大学)
佐藤耕一	副委員長	(にかほ市社会福祉協議会 会長)
佐藤勝彦	委員	(にかほ市自治会長連絡協議会 会長 金浦地域)
多田實	委員	(にかほ市自治会長連絡協議会 副会長 象潟地域)
佐藤栄	委員	(にかほ市自治会長連絡協議会 副会長 仁賀保地域)
高橋行二	委員	(にかほ市学校規模適正化検討委員会 委員長)
小幡正則	委員	(元合併協議会委員)
佐藤友和	委員	(にかほ市商工会青年部)
金子尚子	委員	(にかほ市地域婦人団体連絡協議会 会長)
鈴木真	委員	(にかほ市PTA 連合会)
須田彰子	委員	(にかほ市生涯学習奨励委員)

本資料は、委員会での各委員の発言を事務局（総務部総務課）が要約してまとめ、公表のために各委員へ確認をとったものである。

平成29年3月

全体目標「建物系施設を30%削減」の妥当性について

ア. 人口減少のため

- ・人口減少のため施設を再編し、削減することは概ね理解できる。…複数
- ・40年後の人口推計と、市の将来像がイメージできない。人口減少と施設削減が結びつかない。

イ. 公共施設面積(市民1人あたり)が過剰なため

- ・「1人あたりの施設面積」の定義がよくわからない。…複数
- ・施設削減の根拠とすべきなのかが疑問である。
- ・他自治体との比較ではなく、個々の施設ごとに検討するべきである。…複数

ウ. 将来の財源不足のため

- ・個々の施設ごとに削減を検討するべきである。…複数
- ・財源不足のため、施設削減は妥当である。致し方ない。

施設別の意見

学校統合による空き校舎の利活用について

- ・旧小出小校舎を活用した「いちじく市」などは、目新しく、単発的には良い取組みである。活性化につながる活用である。
- ・旧校舎のある地域では、何らかの形で活用して、地域の拠点施設として残してほしいはずである。地域の拠点は必要である。
- ・防災拠点として、空き校舎の存続が必要なのではないか。
- ・旧校舎の活用は、校舎と体育館に分けて考えるべきである。
- ・小出小空き校舎の体育館は、体育施設として存続させてほしい。
- ・レンタルスペースとして活用できないか？
- ・産業振興のため、企業向けのフリースペース、ワーキングスペース、異業種が集うような施設にできないか？
- ・クマ牧場として利用できないか？新しい、突飛に思える発想も必要だ。

本庁舎方式への転換について

- ・庁舎の統合に関しては概ね妥当と考える。…複数
- ・庁舎の統合は、市民側にもメリットがある。(現状の分庁舎方式では、用件によっては3庁舎を回らなければならない)
- ・庁舎の統合により行政効率の向上が期待される。
- ・庁舎統合を3~4年程度の短期間で進めてよい。そうすることで意識が変わり、次は〇〇、その次は△△と再編を進める考えが生まれやすい。
- ・庁舎統合は、現状の規模などから象潟庁舎への一本化でよいと思う。…複数

- ・支所の規模、機能（サービス提供の中身）が気にかかる。
- ・本庁舎の置かれない地域では、少なからず不便が生じる。
- ・施設の統合や集約に際しては、地域意識のぶつかりが懸念される。配慮が必要である。
- ・庁舎間のバス運行などは考えられないか？

その他の施設

- ・常設の展示施設にこだわらなくても、にかほつとやスマイル、庁舎なども活用できる。
- ・霊峰公園は廃止の方向性となっているが、付近でのブナ植樹を数十年も継続している。方針を再考願う。
- ・公民館などは中央公民館制にするなど、施設（建物）の考え方とは別に、職員体制配置も考えるべきである。

計画案 第4章 公共施設 全体の基本方針について

- ・新聞で言うところの見出し、アピールポイントを特徴づけるべきである。
- ・「3)再編への視点」の「機能（市民への効果）を維持すること」が重要であると思う。
- ・一般市民の視点としては学校と庁舎の統合の件が注目され、全体の中で重点事項として位置付けるのが良いと思う。
- ・削減目標は容易な数値ではない。40年後の目標という設定であっても児童数減少などを見込んで小中学校を一つにするなどの案が出てくると思う。
- ・分庁舎方式から本庁舎方式への転換は、合併によって旧3町が1つの市へと一体化したシンボルと捉えることができる。…複数
- ・人口減少を抑制し、住みたいと思えるまちづくりの視点も必要である。…複数
- ・計画策定によって、市に一体感が醸成されるとの意義を加えてはどうか。…複数

計画案 第6章 計画の実行と管理について

- ・6-1の仮称の委員会、チームの構成・役割を詳細に示すこと。

その他意見

- ・計画にコンセプトがあれば良い。
- ・「計画の目的」などで計画による効果・メリットのような言葉があれば良い。公共施設再編により住民サービスの向上、地元企業と連携しての地域経済の発展を図るなど。
- ・今後40年間の削減目標の中で、具体的な削減対象や今後予測されることなどを説明する必要がある。
- ・公共施設の再編、将来的な削減はやむを得ないが、市民への影響を極力少なくして行うべきである。…複数
- ・施設を削減する、例えば3施設を1施設にすると不便さが予想される。不安である。
- ・遊休施設を民間や自治会へ活用を任せる。活用に際しての改修は市が実施し、運営には財政措置すること。
- ・行政やその地域だけで活用を探るのは難しい。ネット公募や活性化委員会のような方法もある。…複数意見
- ・遊休施設を活用した取組みとして、他の自治体の事例では、比較的アクセスのよいところが成功している。
- ・単なる廃止・解体では市民の理解が得られない。複合化などが1つのアイデア。
- ・施設の統廃合には、交通手段の視点、代替方法の提案が必要である。
- ・数値目標にとらわれず、改修して残すモノ、不要なモノを、個別に見直すべきである。
- ・遊休施設は、活用だけでなく、解体も進めるべきである。
- ・廃止（を検討する）施設について、行政側のPRや運営が不十分なため利用が少ない、廃れているようなものがある。
- ・現状にこだわって施設を維持する意見に対しては、説明に時間をかけてでも乗り越えなければならない。
- ・廃止・譲渡とする施設については、現時点での廃止時期や今後の見通しなどのわかりやすい説明を入れること。
- ・譲渡に関しては建物（ウワモノ）だけとすべき。
- ・財源が少ない中では、自分の生活圏からは離れるかもしれないが、ある程度の施設はなくしていくしかない。
- ・公共施設整備用の基金を設置してはどうか？
- ・数十年先を見据えるのだから、将来世代、若い世代の考えや意見を聴取するべきである。
- ・これまでにかほ市では様々な計画・事業が計画どおりに進まない印象がある。（どこかで立ち消えする？）
- ・市民側も将来のため、発想を切り替えて、「〇〇施設は活用しなくてよい」とするような意見を発したい。

- ・市の施策（施設整備を含む事業）は客観的データに基づいて決定されるよう望む。
- ・施設の再編には、もう少し時間をかけて市民への周知を求めたい。多くの意見を聴いてほしい。
- ・計画の中に、これから市民側でも考えていく余地を残すことが必要である。
- ・合併から10年以上経過したが、「旧地域間の垣根」が残っている。地域格差を指摘する声がある。…複数
- ・「格差」は個々の感じ方であり、具体的には挙げられない。…複数
- ・「格差」より「地域エゴ」や「地域間の垣根」が見える。
- ・合併協定項目の施設整備の取扱いに不満がある。
- ・合併後11年が経過したのだが、まだ旧3町間の横のつながりが良くない。はつらつとした市になって欲しい。
- ・策定した計画を着実に進めて欲しい。…複数
- ・今後計画を進めるには、多くの市民、幅広い年齢層の意見を集めて欲しい。…複数
- ・合併協定項目の金浦地域への文化施設建設を前向きに考えてほしい。合併特例債の期限も考慮すべき。
- ・公共施設等総合管理計画検討委員会に関わり、一緒に考えることで一市民としてまちづくりに近づけたと思う。